

調理師免許申請書記入例

様式第一（第一条関係）

調理師免許申請書

宮城県収入証紙

宮城県収入証紙

宮城県収入証紙は

宮城県収入証紙

宮城県収入証紙 5,800円分を貼ること

※証紙同士が重ならないように貼ってください。申請用紙からはみ出ないように注意してください。

1 免許取得資格について、該当するどちらかに年月を記入すること。

(1) 調理師法第3条第1項第1号（調理師養成施設卒業） 令和3年 3月 卒業

(2) 調理師法第3条第1項第2号（調理師試験合格） _____ 年 ____ 月 合格

試験合格者 → 合格発表年月
養成施設卒業 → 卒業年月

2 調理師免許取消し処分の有無。（有の場合、その理由及び年月日）
有 無

3 罰金以上の刑に処せられたことの有無。（有の場合、その罪、刑及び刑の確定年月日）
有 無

4 旧姓併記の希望の有無。
有 無

旧姓の併記を希望する場合は、「有」に○をすること。「無」が選択されている場合又は未記入の場合には、「旧姓」欄に記載があっても併記はされません。

上記により、調理師免許を申請します。

申請日を記入すること。

令和 3 年 3 月 30 日

本籍地都道府県名 (国籍)	宮城県
------------------	------------

県名のみ記入すること。外国籍の方は国籍を記入すること。

電 話	022 (211) 2637
住 所	〒 980-8570 宮城 都道 仙台市青葉区本町3-8-1 府 県

日中繋がりがやすい電話番号を書くこと。（確認のため窓口から連絡する場合があります）

現住所を書くこと。

(氏名は、戸籍上の文字で記入すること)

ふりがな	(氏) みやぎ	(名) たろう
氏 名	宮城	太郎
	(旧姓) 仙台	太郎
通 称 名		

生年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 <input type="radio"/> 西暦	10 年 8 月 9 日
------	--	-----------------------------------

戸籍どおりの文字で記入すること。

性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
----	--

旧姓又は通称名の併記を希望する場合に記入すること。希望しない場合は、空欄とすること。
※通称名は記載をもって併記を希望したものとみなします。
(誤って記載した場合は、二重線で取り消すこと)

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

備考 1 該当する不動文字を○で囲むこと。
2 用紙の大きさは、A4とすること。
3 所定の手数料の額に相当する県の発行する収入証紙をはり付けること。
4 行政手続条例（平成7年宮城県条例第30号）第6条に基づく標準処理期間は、20日間とする

※免許証に併記できるのは、旧姓又は通称名のいずれかのみです。

(添付書類)

【調理師養成施設卒業生】

- 調理師養成施設の卒業証書の写し又は卒業証明書（原本）
※卒業証書の写しを添付書類とする場合には、窓口卒業証書原本を持参し照合を受けること
- 調理師養成課程履修証明書
- 戸籍抄（謄）本又は住民票の写し（本籍地が記載されているものに限る）
- 旧姓又は通称名の併記を行う場合には、現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる書類
⇒現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる戸籍抄（謄）本、併記しようとする旧姓又は通称名が併記された住民票
- 医師の診断書（麻薬、あへん、大麻、覚せい剤の中毒者ではない旨）

【試験合格者】

- 調理師試験合格通知書
- 戸籍抄（謄）本又は住民票の写し（本籍地が記載されているものに限る）
- 旧姓又は通称名の併記を行う場合には、現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる書類
⇒現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる戸籍抄（謄）本、併記しようとする旧姓又は通称名が併記された住民票
- 医師の診断書（麻薬、あへん、大麻、覚せい剤の中毒者ではない旨）